ジビエ利活用コーディネーター登録票

ふりがな	いのうえ たくや
① 氏名	井上 拓哉
4 所属先	くまもと☆農家ハンター
e-mail	kumamotohunter※gmai.com (送信の際は、※を@に置き換えてください)
	☑ 地域合意形成 ☑ ジビエ等の有効利用に適した捕獲手法 ☑ 捕獲鳥獣の解体・処理加工
専門分野	□処理加工施設における衛生管理 □処理加工施設の運営 □商品開発 □流通
⑥ (該当するものを全て選択)	□販路開拓 ☑ ペットフード利用 ☑ 皮革利用 □動物園等でのと体給餌
	☑油脂利用 □骨利用
	その他()
対象鳥獣	□シカ ☑イノシシ □クマ
(該当するものを全て選択)	その他()
対応可能地域	☑全国 □北海道 □東北 □関東 □北陸 □東海
	□近畿 □中国 □四国 □九州 □沖縄
(該当するものを全て選択)	その他特定の都道府県、地域(
免許及び資格	☑狩猟免許 (銃:取得年 平成 31 年) (わな:取得年 平成 31 年)
(該当するものを全て選択し、 取得年を記載)	□獣医師免許 (取得年 元号 年)
	その他()
⑪ 活動実績	
活動期間	2019年10月 ~ 現在
地 域	熊本県
活動分野(該当するものを全て選択)	☑ 地域合意形成 ☑ ジビエ等の有効利用に適した捕獲手法 ☑ 捕獲鳥獣の解体・処理加工
	□ 処理加工施設における衛生管理 □ 処理加工施設の運営 □ 商品開発 □ 流通
	┃ □ 販路開拓 □ ペットフード利用 □ 皮革利用 □ 動物園等でのと体給餌
	☑油脂利用 □骨利用
	その他(
	□シカ ☑イノシシ □クマ
(該当するものを全て選択)	その他(
活動内容	2016年より「くまもと☆農家ハンター」を設立。従来の個人で行う対策から仲間や地域と共に専門家(研究者、猟師etc…)から対策の正しい知識を学び、ICT技術などの技術導入を積極的に取り入れるなど新たな試みを行った。伝統的な狩猟とは異なり銃を使用せず、箱型のわなと捕獲通知機(ICT機器)を使用する事で捕獲対策の参入ハードルを下げ、農業との両立も可能にした。 2019年には、農家ハンター☆ジビエファームを建設。捕獲したイノシシをジビエ肉や肥料等に活用する、捕獲から加工・流通までを見据えた「循環型の地域事業の構築」に向けた取組を行っている。 『活動による受賞歴』 2018年「生物多様性アクション大賞」にて農林水産大臣賞を受賞 2019年「GOOD DESIGN賞2019」にて コミュニティデザイン賞受賞 2019年 農林水産省「ディスカバー農村漁村の宝」にて九州農政局長賞を受賞 2020年「地域再生大賞」にて熊本県代表として優秀賞を受賞 2020年 第49回「日本農業賞」にて食の架け橋部門で特別賞を受賞 2020年 総務省「過疎地域自立活性化優良事例」に選定される。 2021年 内閣府「ふるさと名品オブザイヤー」にて地方創生賞を受賞(サスティナブル石鹸サングリエ) 2022年 農林水産省「鳥獣対策優良活動 捕獲鳥獣利活用部門(団体)」に選定される。 2022年 総務省「ふるさとづくり大賞」にて優秀賞を受賞